

(2) Ver10.0 以前からお使いのお客様への補足事項

一般的に以前のバージョンはすぐには削除せず、新バージョンを暫くご使用後、問題ないと判断されるまでは共存させてご使用することをお薦めいたします。ただしお客様ごと特別に設定された内容の継承や、両バージョン共存時の使用で若干注意点がありますので、以下をご参照ください。

～ V9 から V10.1 へ ～

- Ver.9.x ユーザー定義ファイルを Ver10.1 でも使用する場合は”ユーザー定義ファイルの複写”を参照下さい（10 - 13 ページ）。ただし、プログラムの改善で互換性が無いものがありますので、できれば全てを Ver10.1 で再度設定してください。
- 以前のバージョンが不要な場合は”Ver8.0x、Ver9.x の削除の方法”（14-16 ページ参照）を参考に削除してください。なお、以前のバージョンが残っていても Ver10.1 の動作には影響しません。
- Ver10.1 インストール後の pfm ファイルをダブルクリックしての起動は、Ver10.1 の動作となります。Ver9.x で起動したい場合は、STATION V9x のアイコンから起動した後にファイルを指定します。

Ver10.1 インストール後は、pfm ファイルをダブルクリックすると Ver10.1 で起動するため、Ver9 を起動させる場合は右絵のショートカットから起動する



～ V10.0 から V10.1 へ ～

- 通常、[標準]インストールを進めた場合は、Phi101 フォルダへ設定が行われるため、Ver10.0 は自動的に消去されません。差分インストールされないためです。また、下絵にあるようにアイコンは混在しても全て Ver10.1 の動作になります。

10.0 と10.1 とが両方存在する状態。アイコンが2つ出来ている。(10.0 をアンインストール前に10.1 をインストールした場合)



- V10.0 で設定した内容(ファイル)は自動的に更新されません。該当するファイルを該当するフォルダへコピーしてください。ここでいう該当ファイルとは、ユーザ定義ファイル(10 ページ参照)、mmparam などのパラメータファイルをさします。(パラメータファイルは、¥phi100¥var¥profiles¥user¥にあるファイル；ログオン名 user) なお、Ver10.0 の設定ファイルは全て Ver10.1 で互換性がありますので変更ファイルをコピーするのみで引き継がれます。Ver10.0 で定義したものを更に Ver10.1 で再定義する必要はありません。

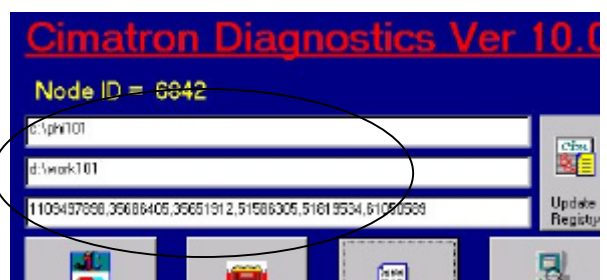
- V10.1 をインストールしたのちに、V10.0 をアンインストールすると、レジストリの一部が消去されます。その場合は、再度必要な情報を入力し直してください。必要な情報とは、phi101 フォルダの指定、work101 フォルダの指定、keycode の指定、の計3つの情報です。

下絵では、diagnostics を起動させて、3つの情報を入力しています。

「スタート」 「ファイル名を指定して実行」に「diagnost」と入力し、OK をクリックする。

入力する部分は上から cadroot(phi101 の指定)、workarea(work101 の指定)、keycode(キーコードの指定)。

10.0 アンインストール後は3つとも空白になっています。全てを入力後 Update Registry をクリックすると、入力した必須情報がレジストリに登録される。



ここからは、必要に応じて参照してください

(3)キーコードの変更・更新方法 ログオン名：user でも出来ます

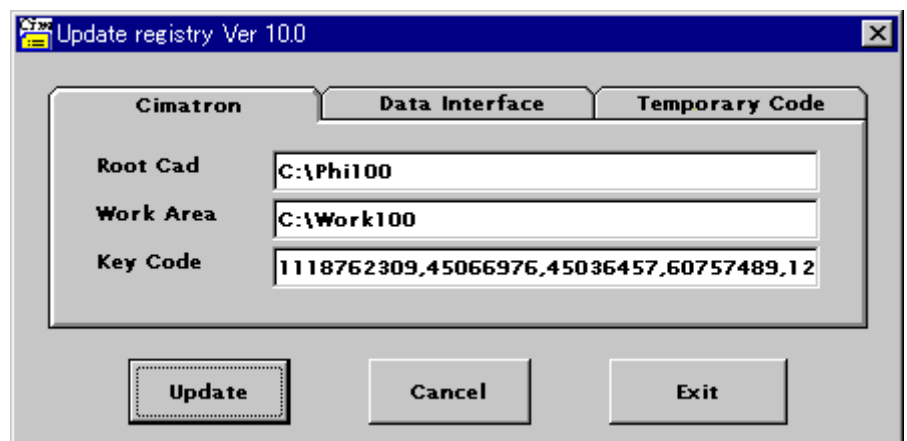
STATION10.1 のアイコンをダブルクリックすると、 STATION V9.x アイコンと同じように”レジストリ更新アイコン”が出てきます。それをダブルクリックします。

レジストリ更新アイコンを
ダブルクリック



〔 Update registry Ver 10.0 〕ダイアログが起動してくるので、Cimatron タブ Key cord の枠に目的のキーコードを入力します

キーコードを入力し〔Update〕を
クリックして 変更・更新



〔 Exit 〕をクリックすると終了

(4)Ver9 の設定の引継ぎ

ユーザ定義ファイルの複写]

Ver9 でお客様が個別に設定したファイルをユーザ定義ファイルといい、その設定内容を Ver10.1 で使用するためにファイルの複写をします

デバイス定義ファイル (プロッターの設定ファイル) の場合

プロッタをご使用のお客様は、下記の手順でファイルをコピー / 編集をしてください

手順

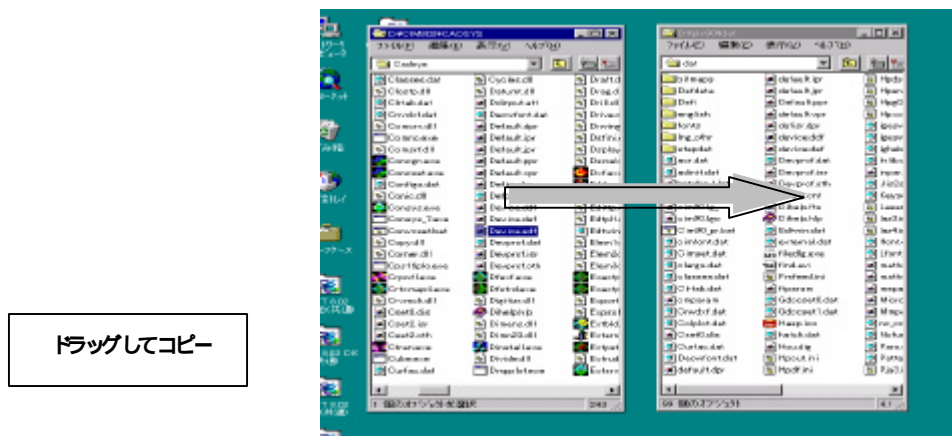
phi9x¥dat¥device.sdf を¥Phi101¥Dat ヘコピー

device.sdf で定義しているバッチファイル(cim90pr.bat)を¥Phi101¥bin
ヘコピー

device.sdf で定義している.ini ファイル群を¥Phi101¥Dat ヘコピー

上記 でコピーした bat ファイルを編集 (巻末の「cim90pr.bat の編集
方法」を参照ください)

同じドライブ内にファイルがあると「移動」になるので、必ず ctrl キーを押しながら、
ドラッグ＆ペーストしてください。



で定義しているファイルは、
11-12 ページの「についての補足」をご参照ください。

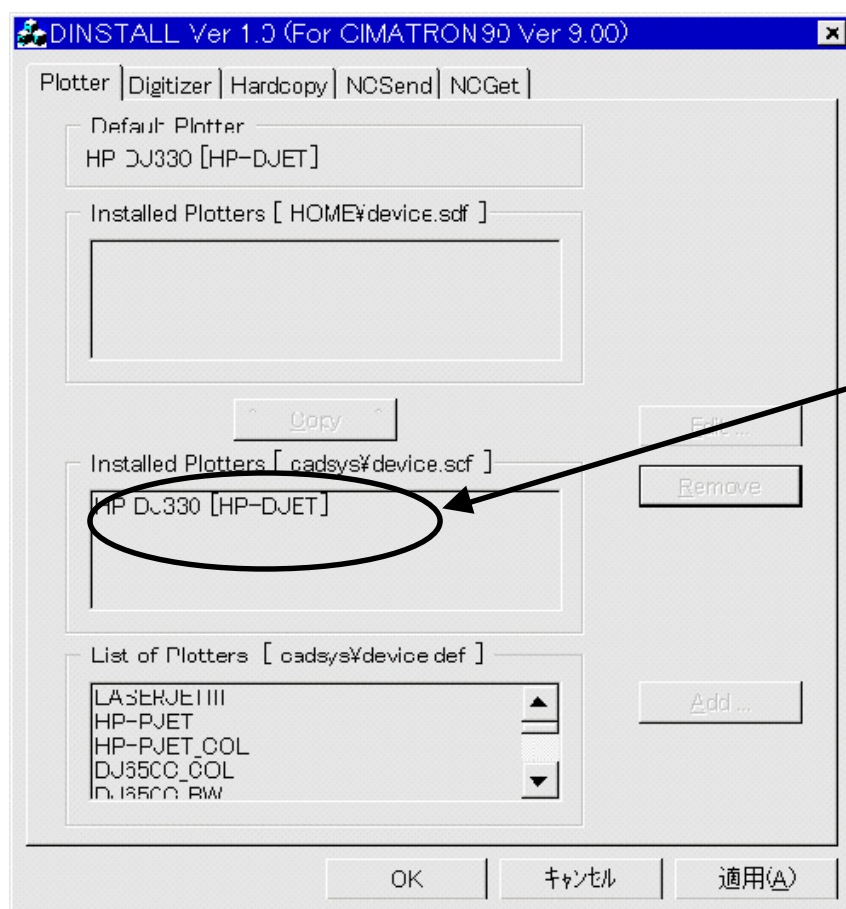
についての補足 - 1 -

手順にあるファイル名などが分からない場合は、次の手順で確認することができます。

Ver9〔外部装置インストール〕の設定画面を起動して目的のファイル名を参照します



下絵のウィンドウが起動してきます。

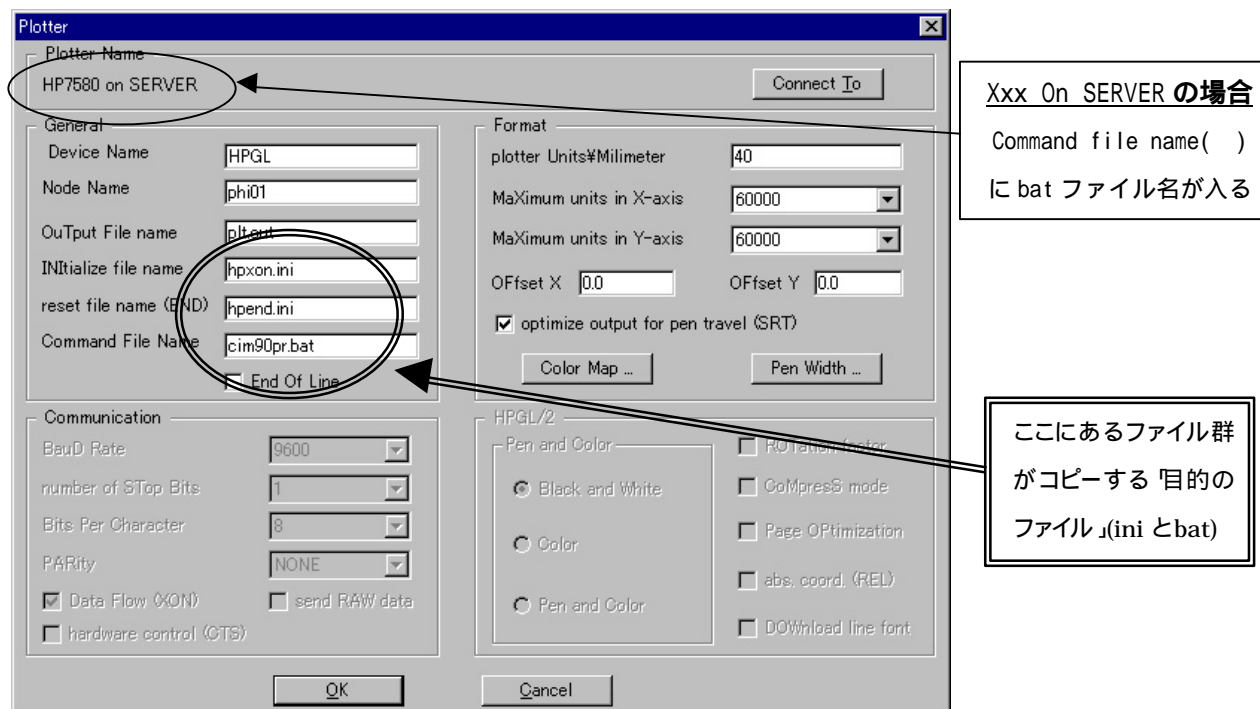


ここが複数個ある場合は、それぞれについて確認する必要があります。

プロッタを定義していない場合は名前は出てきません。

についての補足 - 2 - つづき

以前に定義したプロッター設定画面からコピーする目的のファイルを見つけます



上の 2 重枠で囲まれているファイル名が、必要なファイルになります。

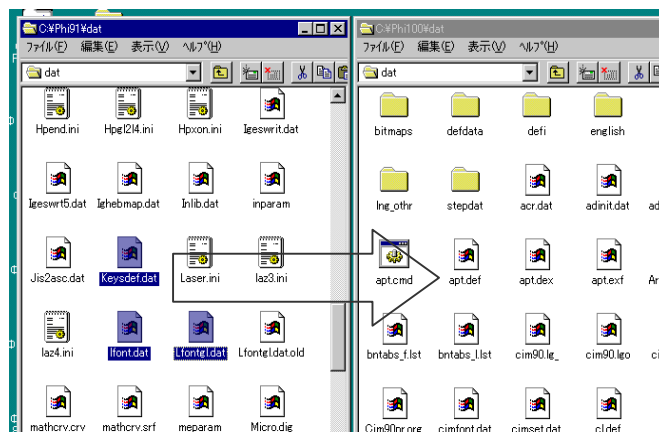
特殊な設定の場合

UNIX などのワークステーションを介してのプロット出力を行う場合には、
command file name () にもサーバーファイルが設定/指定されている場合があります。
その場合にはそれらのファイルもコピーする必要があります

線種定義ファイル複写の場合
プロッタパターン線種の設定は
¥phi9x¥dat から¥phi101¥dat へコピーします

¥phi9x¥dat から
¥phi101¥dat へコピー

変更したファイル
Lfont.dat、Lfontgl.dat、
が対象になります



以下の Ver 9 x 設定ファイルは、Ver10.1 で再度、設定 / インストールしなおしてください

工具ライブラリ定義ファイル

この定義ファイルを使用すると Ver10.1 で工具を読み込む際に、アプリケーションエラーで STATION がハングアップします。

製図規格定義ファイル

キー割り付けファイル

データ変換用の各パラメータファイル

ポストプロセッサ

Ver10.0 のポストプロセッサ用ファイルをフロッピーディスクから phi101¥ver¥post へインストールして下さい

参考！

Ver10.0 の設定ファイルは全て Ver10.1 で互換性がありますので、変更ファイルをコピーするのみで引き継がれます。10.0 で定義したものを更に 10.1 で再定義する必要はありません。

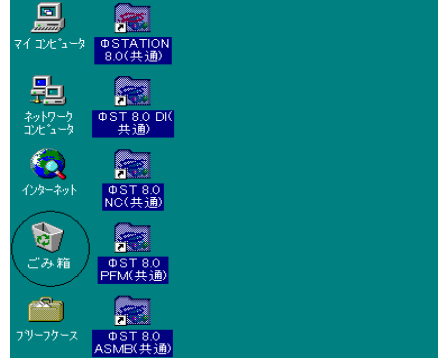
(5)旧バージョンの削除方法

【Ver8.0x の削除の方法について】 今後 Ver8 を使用しない場合のみ実施

必ず administrator で作業してください

デスクトップのアイコンを削除します。

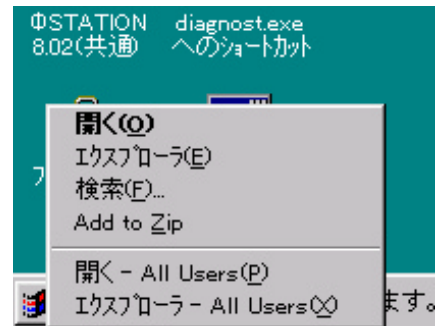
アイコンを選んでごみ箱
へドラック



スタートメニューのアイコン (“ winnt40¥profiles¥all users¥スタートメニュー¥プログラム “ にある Ver8.0x のフォルダ) を削除します。

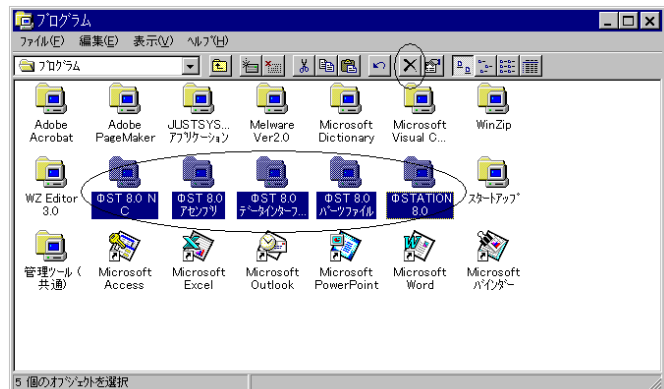
スタートを ボタンでクリック

開く - All Users (P) をクリックする



プログラムの中の 8.0x の
フォルダーを囲い、削除

他のフォルダを削除しない
ようにご注意ください



フォルダーを削除

C または D ドライブにある cim80x、work80x フォルダを削除します。

通常はゴミ箱へドラッグしただけでは、ディスクにファイルが残っています。「ゴミ箱を空にする」を使うと、完全に削除されます。

〔Ver9.x の削除の方法について〕 今後 Ver9 を使用しない場合のみ実施

必ず administrator で作業してください

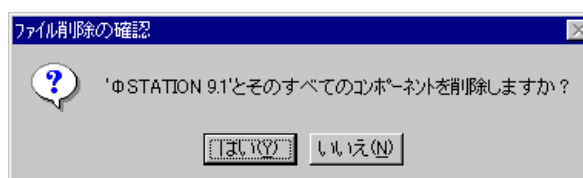
STATION9.x 以降付属するようになりましたアンインストールプログラムを実行して削除を行います。

アンインストール STATION9.1
をダブルクリック

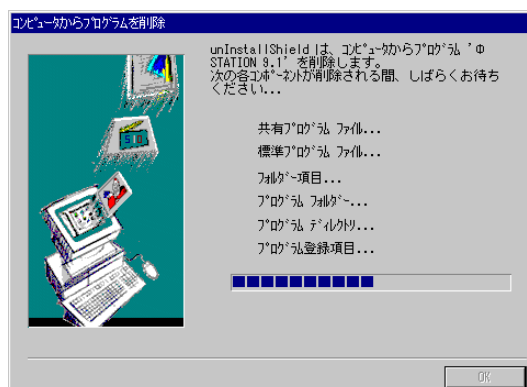


ファイル削除の確認ダイアログがポップアップし、 station 削除の確認を聞いてきますので〔はい(Y)〕と答えアンインストールを実行します。

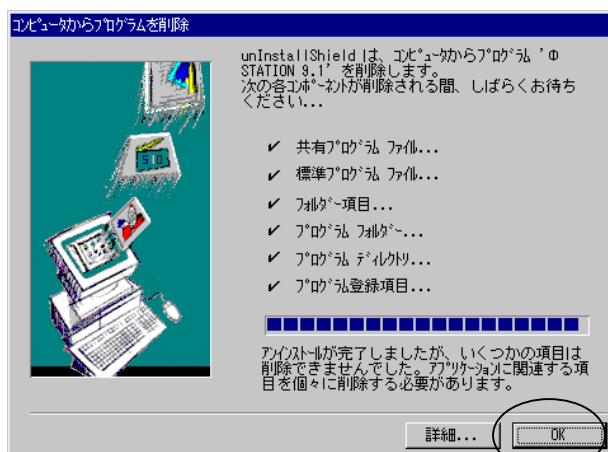
〔はい(Y)〕 をクリック



アンインストールの実行中

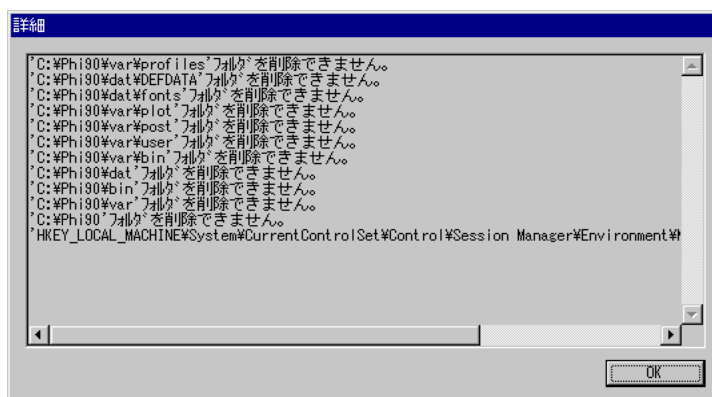


アンインストールが完了したら
OK をクリック



この時、インストール時のファイルとは違う「新しいファイル」や「更新されたファイル」などがあると、消去対象のフォルダが消えません。詳しくはアンインストール終了後に表示される「詳細ボタン」を押し、参照してください。

詳細ボタンをクリックすると
消されなかったフォルダを参
照できる



【Ver10.0 の削除の方法について】

基本的に【Ver9.x の削除の方法について】と同様の手順で行います。具体的な操作は、前述した【Ver9.x の削除の方法について】を参照ください。

注意！

Ver10.1 をインストール後 Ver10.0 のアンインストールを行うと、レジストリの一部がアンインストールと同時に消去されます。Update registry Ver10.0 (9 ページ)、または Cimatron diagnostics Ver10.0 (8 ページ)を使用して、必要な情報を再度入力してください。

「cim90pr.bat」の編集方法

1. phi101¥bin にコピーした、「cim90pr.bat」を開きます。

ファイルアイコン上でマウスの右ボタンをクリックし、「編集」を選択するとメモ



帳が開きます。

2. ファイルの中にある、「plt.out」をすべて「%1」に置き換えます。

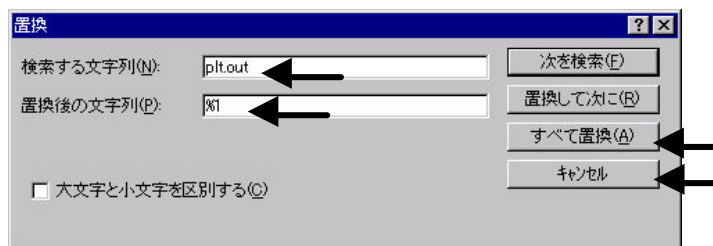
メモ帳の「検索」 - 「置換」を選びます。



「検索する文字列」に「plt.out」、「置換後の文字列」に「%1」を入れます。

「すべて置換」を押します。

置換された事を確認して、「キャンセル」を押します。



同じ行が二行出来た場合はどちらか一行を削除します。

```
@echo off
mode com1: baud=9600 parity=n data=8
stop=1 xon=on
if %1 == %1 print /d:com1 %1
if %1 == %1 print /d:com1 %1
rem if %1 == %1 copy %1 lpt1
```

編集前（例）

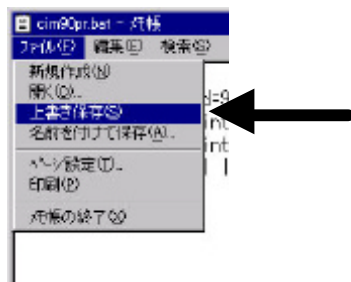
```
@echo off
mode com1: baud=9600 parity=n data=8 stop=1 xon=on
if %1 == plt.out print /d:com1 %1
if %1 == PLT.OUT print /d:com1 %1
rem if %1 == plt.out copy %1 lpt1
```

編集後（例）

```
@echo off
mode com1: baud=9600 parity=n data=8 stop=1 xon=on
if %1 == %1 print /d:com1 %1
rem if %1 == %1 copy %1 lpt1
```

注：上記例は、プロッタの出力方法によっては書式が異なる場合があります。「plt.out」が「%1」に置換された事に注目して下さい。

3. ファイルを保存します。



「ファイル」 - 「上書き保存」を選びます。

4. メモ帳を閉じます。

「ファイル」 - 「メモ帳の終了」を選びます。

